

平成 27 年度第 7 回定例理事会抄録

日時：平成 27 年 11 月 21 日（日）13：04～18：27

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、荻原、香山、土井（副会長）、宇田、荻山、小林毅、小林正、陣内、藤井、三澤（常務理事）、大庭、小川、川本、座小田、佐藤孝、清水兼、清水順、高島、谷、二神、宮口（理事）、古川、早川、長尾（監事）

理事会の求めによる出席：能登、柴田、西出、梶原、渡邊忠、谷川、山崎、石橋（委員長）、岡本（財務担当）、大場（都道府県士会連絡協議会会長）、矢田（広島県士会）、吉波（富山県士会）、高橋（群馬県士会）、市川（辻・本郷税理士法人）

I 報告事項

1. 平成 27 年度中間監査および第 49 回日本作業療法学会の監査について（香山財務担当副会長・市川氏）11 月 21 日（土）午前中に監事監査を実施した。順調に推移している。
2. コンビニエンスストア用振込用紙バーコード印字ミスにかかる会員対応について（香山財務担当副会長）確証は得られなかったが、振込済みと申告のあった会員（35 名）については、納入済みとする対応を取る。
3. 『協会五十年史』の再見積もりと業者対応について（荻原事務局長）理事会において全会員への無料配布と決定したことを受け、再度見積もりを取った。業者は医歯薬出版。
4. 平成 28 年度予算の申請状況とヒヤリングの実施について（香山財務担当副会長）各部委員会より申請のあった予算額を集計した。12 月 12 日にヒヤリングを実施し、調整する。
5. マイナンバー制度導入に伴う協会の対応について（荻原事務局長）マイナンバー制度導入に伴い、必要な諸準備を行っていく。
6. 作業療法の定義に関するアンケート集計結果について（小林正学術部長）詳細な結果を確認したいとの要望に応じて、集計結果をまとめた。
7. 平成 27 年度認定作業療法士取得研修の追加研修会 4 回目について（陣内教育部長）研修会 4 回目（共通研修の管理運営）を 2016 年 1 月 9～10 日に開催する。
8. 平成 27 年度介護保険緊急調査報告書について（谷制度対策部副部長）診療報酬改定要望活動につなげる材料とするために調査した結果をまとめた。
9. 「学校作業療法士」の名称とその推進プログラム委員会（仮）の立ち上げ提案について（三澤制度対策部副部長）「学校作業療法士」モデルを目指す方向性についての提案。概

念整理をしていただく。

10. 認知症の人の生活支援推進委員会進捗状況について（認知症の人の生活支援推進委員会小川委員長）進捗状況について報告があった。常務理事会で検討を重ねる。
11. 平成27年10月の会長および業務執行理事ならびに協会各部署の活動報告について（荻原事務局長）10月の活動報告をまとめたので、確認いただきたい。
12. 渉外活動報告 文書報告
13. 日本作業療法士連盟報告 文書報告
14. 訪問リハビリテーション振興財団報告（谷担当理事）11月27日、訪問リハフォーラム2015に気仙沼訪問リハステーションの管理者がシンポジストとして参加する。
15. 日本介助犬協会報告 文書報告
16. 第4回定例常務理事会の審議経過について（荻原事務局長）
 - 1) 運転と作業療法について：資料を検討していただき、12月理事会に上程する。
 - 2) 出版・研修・商品開発・医療・介護事業等の事業化について：出版・研修について現状確認と今後について検討した。他の項目は引き続き検討する。
17. その他 1) 中村会長：①2016年3月21日、三協会の各県士会の会長会議が開催される。②養成校別入会状況を一覧にまとめた。2) 藤井理事：WFOT 個人会員加入の締切が近づいている。加入を推進したい。3) 荻原事務局長：厚生労働省の需給計画の見直しの検討会と精神保健福祉法改正に向けた検討会に委員として参画する。

II 審議事項

1. 平成27年度第二次補正予算案について（香山財務担当副会長・市川氏）減額補正および研修会の追加、新設委員会の経費等の増額がある。 →承認
2. 財務上のいくつかの懸案事項について（香山財務担当副会長）
 - ①「過年度会費収入」の取り扱いについて：方向性について承認を受け、次回理事会に規程改正案を上程する。 →承認
 - ②非常勤役員の報酬の検討について：数人の理事による検討会で検討する。 →承認
3. 『作業療法白書2015』の配布方法と部数について（荻原事務局長）希望者に対して無料配布する。三栄ビジネスに発注する。 →承認
4. 学会プログラム集・抄録集 CD-R の製作部数について（小林正学術部長）抄録集 CD-R の製作を廃止。プログラム集は学会参加者のみに当日配布。スマートフォン用学会専用ア

- プリを製作する。協賛金募集については学会趣意書より削除する。 →承認
5. 三役会に関する規程の整備と平成28年度からの会議開催要項について(荻原事務局長) 三役会に関する規程を整備する。平成28年度から会議開催日程を変更する。 →承認
 6. 不服申請のあった倫理問題案件への対応について(荻原倫理委員長) 本人からの事情聴取を行った。譴責処分とするが、すでに報告文書が提出されているので、新たな始末書は求めないこととする。 →承認
 7. 女性会員の協会活動参画促進のための方策について(香山副会長) 活動を進めていくことは承認、対応窓口の設置については、検討の上、理事会に提案する。 →承認
 8. 養成校卒業時の成績優秀者の表彰について(陣内教育部長) 規程を整備する。12月に案内を発送し、推薦を受けた学生に卒業時に賞状と記念品を授与する。 →承認
 9. MTDLP 研修の位置づけによる生涯教育制度の一部改定(案)について(陣内教育部長) MTDLP 研修と生涯教育制度との整合性を図るために、一部改定を行う。 →承認
 10. 平成28年度日本作業療法士協会・研修会開催予定(案)について(大庭教育部副部長) 各部よりの意見も踏まえ、平成28年度研修会開催予定を計画した。 →承認
 11. MTDLP 関連研修会の開催について(土井MTDLP プロジェクト委員会担当副会長) 研修会開催を予定。教育部と連携して取り組み、平成29年度から教育部に移行。 →承認
 12. 一般社団法人日本作業療法士協会50周年記念研修ツアーについて(藤井国際部長) 国際部よりの提案として50周年記念式典実行委員会で他部署よりの提案も含めて検討し、記念事業として理事会に提案する。 →継続審議
 13. 台湾作業療法士協会・日本作業療法士協会学会時の協会活動紹介ブースの相互設置について(藤井国際部長) 協会活動紹介ブースの相互設置を行う。 →承認
 14. 平成28年度作業療法推進活動パイロット助成事業の選考結果について(宇田47都道府県委員長) 選考の結果、6士会の事業について助成を行う。 →承認
 15. 立命館大学大学院と当協会との社会人協定入学試験に関する協定について(荻原事務局長) 大学担当者と面談、意見交換を行う。 →承認
 16. 会員の入退会について(荻原事務局長) 会費未納による会員資格喪失後の再度入会希望者16名。未納会費は精算済み。死亡退会3名。 →承認

以上